

■ 発行人 飯山市農業委員長 松永晋一
 ■ 編集 飯山市農業委員会 情報委員会

担い手への農地集積を飛躍的に進めるために

農地中間管理機構の体制

始まる！

農地の有効利用の継続や経営の効率化を進める担い手への農地集積を図るため、4月1日、長野県は「農地中間管理機構」を設立しました。機構は、県農業開発公社が運営を行い、7月から事業展開を進め、初年度は5百畝の集約・貸し出しを行う計画です。

この制度は、複数の貸し手から農地を機構が借受け集約し、農地拡大を希望する担い手へ原則、公募で貸し付けを行うという制度です。

これは農業経営に意欲のある法人の参入を促進させるための国の施策ですが、地域の実情を知らない法人が農地を借り受けた場合、水路・農道の管理、水利活用にあたり地域とのトラブルが予想されるため、人・農地プランに位置付けられた担い手を優先的に

集約を図ることを基本としています。そのため、担い手と農地の出し手となる人の洗い出しをしつかりと行い、地域農業のあり方について、地区住民全員の話し合いで人・農地プランを作成する必要があります。

また、機構に地域の農地をまとめて貸し付けることにより、地域で自由に使える資金として地域集積協力が支払われます。この地域集積協力を受けるには、人・農地プランにおいて地区で農業維持・拡大する人と、農地は貸したい出し手をまとめてプランへ位置付け、地区内の農地の大半をまとめて機構へ預けることにより、より多くの協力が受けられる仕組みになっています。

現在各地区で農業委員・農協理事や地区の担い手が

中心となって、人・農地プランの作成・見直しを進めています。26年度よりスタートする農地中間管理機構のシステムをフルに活用して農業再生の推進を進める必要があります。

新制度であり、未だ内容の不明な点がありますが、県農地中間管理機構が7月より事業展開を始めますので、国・県・県下各市町村の動きを注視しながら、飯山市の農業再生を推進していきます。



あぜ道だより



常盤地区農業委員 石田 克男

「スピードスプレーヤー」

SS」

昭和40年代の初め、私が高校を卒業して2、3年経った頃の思い出です。

当時はこの常盤の里にも多くのリンゴ栽培農家がありました。我家にも、祝、国光、紅玉、旭、印度等の樹があり、それぞれ美味しいリンゴでした。ある日、常盤農協から「SSを購入したので運転してほしい」との話があり、お受けしました。

大型トラクターで牽引するタイプでした。私は主に針尾池周辺のリンゴ園を担当しましたが、それまで、重量のある作業機など入ったことのない園地で、また傾斜地でするので最初の内はぬかったり、滑ったりで大変でした。牽引型だったので下りの時には、後ろのSSの方が滑って先に行ってしまう方向転換した時もありました。薬剤は一度に千畝程作りました。当時は「ホリドール」使用の最盛期で、一年に何回も散布しました。しかし装備は雨ガッパだけ、時々マスク代わりに手ぬぐいをしましたが、SSの威力はすさまじく、少し風が吹くと目も口もあけていられませんでした。今、考えると、良くやったなあと思います。



がんばっています！

—No.32—

きのこ農家へ嫁ぎ経営受継ぐ



大熊こゆきさん（常盤地区）

小布施の非農家よりきのこ農家へ嫁ぎ、早や17年。今は祖父母、父母、主人、子ども3人の9人大家族です。

3年前よりきのこ全般を父母より受継ぎ経営しています。家族のほかにも5人のパートも年間を通してお願いしています。

単価が安いきのこは利益も不安定で、純利益を出すのはとても厳しいです。道の駅千曲川の直売所等にも出荷し色々努力しています。

忙しい毎日ですが、今、興味がありやっていることは、3年ぐらい前より友人と始めた「小沼ぼろろ」作りです。絶えてしまっような伝統の「ほうき草」のホホキではと思

今年も5月には「ほうき草の種」を蒔く予定です。近所の大先輩に聞きながら作業を進めますが商品になるまではとても時間（収穫・乾燥・脱穀等）がかかります。昔は冬仕事にほうきを作る人が多くいたと聞きました。まだまだ修業中ですが、友人と楽しく長く活動できればと思っております。随時参加者募集しております。



(3・4月の活動記録)

- 3/18 農地相談
- 18 農業委員会役員会
- 25 長野県農業会議定期総会(長野)
- 26 3月農業委員会総会
- 4/10 農業委員会役員会
- 28 4月農業委員会総会

あしあと



女性団体春季視察研修会

4月10日(木) 飯山市農村女性団体連絡会と農村生活マイスター協会下水内支部が、合同で春季視察研修会を開催しました。視察先の軽井沢プリンスホテルでは、飯塚喜隆総料理長により飯山市伝統野菜を「こんな風に使おうと、より一層おいしく食べられますよ」というフランス料理の簡単レシピを提案いただき、総料理長の肩書に感じられない気さくさに参加者からは気軽に話しかける姿がありました。また、長野県のおいしい信州フード大使 玉村豊男氏が経営する東御市ワイナリー「ヴィラデスト ガーデンファームアンドワイナリー」では、野菜やハーブなど栽培から調理に至るすべての過程を見ていただくことができる農園レストランや、伝統的なフランス産オーク樽を用いた高級ワインを製造する施設を備えています。カフェからガラス越しに眺める景色は佐久平方面を一望でき、参加者はこれからの農業の理想郷を感じることができました。



今年も始まります！
 元気お母ちゃんのふれあい朝市

6月8日(日) 6:30から

- 会場：J R飯山駅前(雪と寺の町シンボル広場)
- ◎ アスパラ・きのこ・山菜などたくさん野菜販売
- ◎ 初日(6月8日)はおにぎりとおみそ汁無料サービス!
- ◎ 毎週日曜日 朝6:30から(11月2日まで)
- 主催：いいやまふれあい市の会

農業者年金を受給されている方へ 現況届の提出を忘れずに

現況届の用紙は5月末頃に、基金から直接、受給権者本人あてに送付されます。

現況届は6月1日から6月30日までに、市役所内の農業委員会へ提出してください。提出がない場合は年金の支払いが差し止められる場合がありますのでご注意ください。

